

理想の進路実現へ

校長 濱田 賢治



近年の著しい時代の変化と共に、社会で求められる人材像も大きく変わっています。このような状況の中、学校は何かができるのか。学校はどう変わるべきなのか。その問いへの私たちの答えが、グローバルサイエンス教育です。生徒一人ひとりが主体的に考え、行動し、発信する学びの場。知らないことを知る喜び。答えのない問いを解き明かす楽しさ。これまでにない新たな学びのスタイルによって、科学的視点とグローバルな視点を養い、より豊かな思考力や判断力、表現力を備えた、社会に新たな価値を創造する人材を育成します。

昨年、創立 130 周年を迎えた本校にとって、今年は「新生追手門学院大手前」元年とも言える年です。「独立自彊・社会有為」という教育理念のもと、グローバルサイエンス教育を軸に、間もなくスタートする新大学入試を見据えた最先端の学びをさらに充実させることで、すべての生徒の第一志望進路実現 100%を目指して邁進します。

追手門学院大手前中・高等学校

鬼面仏心

校長 堀川 義博



私たちは、親や先生など身近な人から自分の我儘な行動について厳しい顔つきで注意された時、ややもすると悪態をつき、不遜な態度を取ることがあります。しかしながらよく考えてみると、果たして、一線の少ない人ならば、心からの言葉で注意したけるでしょうか。あの怖い顔の内側に、「親心」「真心」という「仏心」が満ち溢れていると見えませんか。残念ですが、昨今、表の顔は仏のような笑顔であつても内側は身勝手な鬼の心、つまり「仏面鬼心」の宿っている人が多くなっている気がします。人生の先達は、正す必要があれば何も小言を言いません。鬼のような形相で叱られた時には私のために」と素直な態度で受け止めたものです。

大谷中学校・高等学校

傾聴

校長 長尾 文孝



高校生の皆さんに大切にしてほしいことがあります。それは「傾聴」といって、相手の話に耳を傾けて熱心に聴く事です。グローバル化の現代、自分の考えをしっかりと主張することの必要性がよく言われています。しかし、自らの主張を有効にするためには、他者の主張をしっかりと理解し自分の心に取り入れることが大切ではないでしょうか。また、スムーズなコミュニケーションをとるためにも「傾聴」は大切な力です。「コミュニケーション能力の高さは「話し上手」と捉えられがちですが、他者との意思疎通のために話し方と同様に大切なことは、相手と本当に話したいことを引き出して理解することです。この「傾聴」という「聴く技術」は、想像以上に皆さんの仕事や人生、そして家族、恋愛、友人などの人間関係において大きな影響を及ぼすのではないでしょうか。

東大谷高等学校

学校は、「社会に出るための訓練の場」でありたい

学校長 江口 宗茂



「どうしてこれが出来ないのー!」親から子へのダメ出しの雨アラレ。「小さいころはホントいい子だったのに……」。親子の力関係が均等化した時の、親の嘆き文句も決まっています。デジタル社会が激動する世界を牽引する。これまでのビジネスモデルが通用しない、先行き不透明な時代。親は我が子とどう向き合えばいいのか。親の悩みはより深い。社会を知らない子とともについて、リアルな社会の息遣いをとて、誰に学べばいいのか。学校という学びの場が、子どもにとっての社会を生き抜く訓練の場でなければならぬ。そんな願いを持ちながら、本校の舵取りを担っている。

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

歴史と伝統。そして前進

校長 吉田 幸一



①キリスト教の教えを礎に、さまざまな地域で生活する人や異なる価値観を持つ人を理解し、世界観とダイバシティを醸成する。
②自身の生き方を冷静かつ客観的に見つめることができ、他者への愛情を忘れないこと。
③心と身体の健康を保ち、知・徳・体のバランスを保ちながら生活すること。
④学業のみならず部活動や学校行事をとおして生き生きとした学校生活が送れること。
⑤将来への夢の実現に向けて、たゆまぬ努力を継続すること。
進路も重要課題と位置づけ、生徒の将来の可能性を広げる教育を実践します。新たな学びにチャレンジする皆さんをお待ちしています。

フール学院中学校・高等学校

賢明 REBORN

校長 大原 正義



宗教は私たちの人生で確かな道しるべとなるものです。今の社会は、かけがえのない命がおろそかにされたり、人間の尊厳を軽く見たりするような出来事が次々と起こります。しかし、イエス・キリストは人間の尊厳を教えたと行いで私たちに示しています。信仰を強制するのではなく、自分の生き方を見つめ、自分が納得できる人生を送るためのヒントが本校には満ちています。そして、今年から本校は関西学院大学と「系属校」という深いつながりができ、新しいステージへ進みました。高校には神戸三田キャンパスに直結する「関西学院大学特進サイエンスコース」ができました。中学は「関西学院理数コース」です。来年四学部に再編される神戸三田キャンパスは魅力にあふれています。

賢明学院中学高等学校

めざすは一人ひとりの夢の実現

校長 平井 正朗



これまでの日本の中高生について言うと、将来の就職を見越して偏差値の高い大学に入るために勉強するという考え方が主流でした。しかし、今や電気自動車、自動運転、カーシェアリングなどに代表される移動革命や医療・農業など、社会の変わり様はすさまじいものがあり、それに対応するスキルを磨かなければなりません。人生 100 年時代、大学入学は実社会への扉。勉強は一生続けていくものですが、中高時代、勉強に充てた時間は人生の中では一瞬にすぎません。しかし、トータルで考えるとかけがえのないものになるはず。"なりたい自分"になるために頑張り続けた経験は、これから始まる本物の研究のスタートライン。そして、将来、自分が活躍できる舞台につながるのです。だからこそ、「行ける」大学ではなく、「行きたい」大学にこだわって最後まで挑戦し続けてくれることを願わずにはられません。本校では「生徒ファーストとチームはつとん」をキーワードに生徒一人ひとりの夢実現に向けてのお手伝いをさせていただきます。

初芝富田林中学校・高等学校

今だからこそ

校長 花上 徳明



例年であれば、4 月は新しい学校生活のスタートです。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大によって大きく違った事態となっています。この状況の中、「学校」とはどのような場所なのか、考えさせられる機会となっています。この数年、私は生徒に「創造力がこれからの時代に重要であり、常識（そのことが真実）を疑うこと・まず挑戦してみる・失敗して前進すること」を伝えてきました。今、学校は通常に対面で行われている授業というものが、試されているのかもしれないと感じています。ネット環境を利用した授業の取り組みも増えてきています。新しい教育が始まることとしての可能性もありません。生徒にはもう一つ「学び続けること」の大切さを今まさに自ら感じてほしいと伝えています。本校では新しい時代を生きる生徒に、これから本当に必要な力を身につけられる教育を展開します。

初芝立命館中学校・高等学校

文武両道を目指す

校長 飯田 智文



本校は、日本人の精神の源である「神社神道」の精神を教育の礎として、間もなく開校 100 周年を迎える伝統校です。その職責の重さに身が引き締まる思いでいます。が、平成 19 年から「浪速改革」を進められた前校長の意思を引き継ぎ、その歴史の重みと謙虚な姿勢を忘れず、次の 100 年に向けた更に進化した学校へという「思いやりの心」「感謝の心」「豊かな心」を育む教育活動の展開に「全身全霊」で取り組んで参りたいと思っております。文武両道を目指す本校は、類を見ない素晴らしい教育環境を整え、最新の ICT 機器を利用した教育活動を展開しております。情熱に満ち溢れた教員が、きめ細やかに徹底的に面倒を見ることをスローガンに掲げて生徒一人一人と向き合っています。難関大学を目指す生徒には必要な学力をつけてチャレンジできるように導き、部活動で日本一を目指す生徒には全国の強豪と戦えるチームへと導いていきます。

浪速高等学校

求められる変化への対応力

校長 清水 俊彦



本校の建学の精神である「不断の努力により、智・徳・体を修め、社会に奉仕する」人材の育成をバックボーンとして教育活動を行なっています。今の中高生が社会で活躍する 20 年後、30 年後の日本社会は、少子超高齢社会による人口減少、情報化社会のさらなる高度化、AI（人工知能）の進化・発達など、が、生活の仕方、職業の種類、働き方などに大きな変化をもたらすのではないかと予想され、変化への対応力が求められています。本校では「自己を受容し、チャレンジ精神を持つ生徒の育成」「メンバースhipを育み、社会貢献を目指す生徒の育成」「心身の成長を促し、生きていくエネルギーに満ちた生徒の育成」という教育目標を掲げており、この目標の下、理想を掲げ、色々なことにチャレンジし、視野を広げてください。その過程でつまずきは次のステップへの栄養になり、前を向いて一歩ずつ進んでいく生徒を育てていく所存です。

大阪体育大学浪商中学校・高等学校

和歌山信愛の ICT 教育実践

校長 シスター 森田 登志子



Society 5. 0 は、国が提唱する新しい社会です。これまでの Society4. 0 (情報社会) からさらに発展し、すべての人とモノがつながる社会と言われています。その際に必要になるのは、ICT 環境を使いこなす力です。和歌山信愛では 2020 年度新入生より 1 人 1 台 iPad を所有し、学校生活で活用していくことになりました。すでに 2019 年度にはすべてのホームルーム教室に移動可能なプロジェクターを設置。視覚的にわかりやすい授業を行っています。具体的には、iPad は辞書や資料集、ノートの役割も果たし、効率的な学習を行うことができました。ペーパーレス・即時的なやりとりで、双方向授業、探究的授業など、新しい形の教育を進めていきます。また、保護者の方々とも情報共有が可能となり、行事の様子から個人の模試の成績まで、様々な情報をご覧いただけるようになります。もちろん、「生徒との関わりを大切に、二人三脚で進んで行く」という信愛教育の根底は変わりません。このような環境の中、子どもたちが生きる新たな社会に必要な能力を育てていきます。

和歌山信愛中学校・高等学校

智辯学園和歌山高等学校

智辯学園和歌山中学校

努力の評価

教頭 児島 伸介



学校とはどういう場であるべきでしょうか。「努力した」者が思い切り努力できるところ」として「努力した者が」正当に評価されること」であってほしいと私は常々考えています。物事にまじめに取り組みくことを抑えたり、せっかくながら上げた成果を見ようともせず外見の印象だけで決めつけたり、今の世の中ではそういうことが往々にして見受けられます。そんな中、「あいつ、ちょっと変わったところあるけどすごいよな」と周りから一目置かれている生徒がいるのを見ると、ああ、の子たちはよく分かっているんだと誇らしい気持ちになります。努力する生徒の居場所がちゃんとあるところ、それが学校です。今後も、本学園がそのような場であるよう、我々も努力を続けていきたいと思います。

背伸びの効きめ

教頭 北 祐哉



国語力を上げるにはどうしたらいいでしょうかという質問をよく受ける。そんなときは、まず漢字の学習をしかりしてください、と答える。ただ、ただ書き取りができるということだけでは、意味を把握したうえで使いこなせる漢字の数を増やしてほしと付け加える。それができれば、記述問題の解答の質は確実に改善する。なにより、日常生活では使わないような言葉を探ることによって、思考する内容が深化していく。理屈っぽくなってしまふという弊害もありうるものの、抽象語に慣れ、精神的な背伸びをしてみることによって、自身の成長を実感して喜びを味わえる。教師生活 32 年、ありがたうにこの学校でそういう生徒に数多く出会えた。国語力の伸張と子どもの内面的成長とは強く結びついている。それが私の実感です。

智辯学園和歌山中学校

女子校とリケジョ

校長 稲葉 良一



一般的に女子は、数学や理科が苦手、理系には向いていないと言われる。本気でそうでしょうか。本校は女子校ですが、約七割の生徒が理系希望者や、実際に進学します。私は長く「物理」の授業を担当しましたが、生徒の発想力に驚かされたことが多々ありました。すなわち、女子でも数学や物理はできます。ただし、女子と男子では教える方が異なります。そこを間違えると、理科嫌いになってしまう。これは、女子と男子の脳では発達に違いがあるから。これから女子の特性を生かした教育ができる女子校からは、多くのリケジョが生まれることでしょう。

四天王寺高等学校・中学校

きめ細やかな指導とサポート

校長 中村 泰雄



本校は 1923 年（大正 12 年）より、「神社神道」の教えに基づき、「日本古来」の文化・伝統を大切にしながら、教育活動に取り組んで参りました伝統校です。数年前より「生徒一人一台の Chromebook」を実現し、日常的な学習ツールとして全ての生徒が使用しています。「Classroom」「すらら」などのアプリを活用し、生徒たちが自ら進んで学習に取り組む姿が日常的に見受けられます。本校の ICT 教育レベルはトップクラスであると自負しております。「最新」の ICT 設備が整った環境の中、社会の変化に対応できるよう、熱意のある教師集団が「徹底的に面倒を見る」を合い言葉に、日々指導しております。

今後、生徒一人ひとりの豊かな人間性を育みながら、個性の伸張を促すとともに、「自らの進路目標を実現できる、楽しい」学校として、なお一層の発展を期したいと考えております。

浪速中学校

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校

未来に向けて、世界で活躍できる人へ

副校長 平岡 正



清風南海学園は次世代のグローバル・リーダーを育てるため「未来を読み解く力」「世界に発信する力」を身につけるよう、多彩で、高度な教育プログラムを準備しています。日々進化する IT 技術、市場の国際化により地球規模の連携が不可欠になっています。本校では生徒諸君の海外派遣のみならず、シナリオ・プランニングによる探求型学習の展開、グローバル・イングリッシュを通じて「使える」英語力の習得、国際シンポジウムの開催など、世界をリードできる人材の育成に最も力を入れています。

一方、新しい教育改革、これからの国際社会が求める人材を育てるため、提携先大学、研究機関とのワークショップやさまざまな体験学習を通じて、生徒一人一人が自己表現や発信力をつけられるよう協力関係を築いています。

未来の社会の中核を担う存在を育てている清風南海学園は生徒諸君の夢を叶えられるよう、これからも世界に飛躍してゆきます。

清風南海学園中学校・高等学校

変化の時代、生き抜く人間像

校長 平岡 宏一



本校は建学の精神である「徳・健・財」の 3 要素を得て、変化の激しいこれからの社会に役立つ人間になるため、宗教を中心とした人間教育を行なっています。徳のある人とは「信頼され尊敬される人物」、そして健康であって初めて安心される人間になれる。さらに経済的な自立をしてこそ「世の中に尽くす」ための心の安定、どれも自らの努力でしか得られないものです。

清風中学校・高等学校

開智だからできる教育に組みたい

校長 土井 和正



本校は、4 月にアジア・オセアニアの 8 カ国を代表する生徒たちとリーダー研修 (Asia Pacific Young Leaders Convention) を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止せざるを得ませんでした。しかし、各国の校長先生たちと話し合いをした結果、来年の 4 月に本校で改めて開催することが決まりました。今後、生徒たちと共に開催に向けて、再び準備を進めていきます。

開智は関西国際空港にも近く、通学の利便性、さらには本校を取り巻く地域には素晴らしいものがあります。ここ開智で学んだ生徒たちが、グローバル化が進む世界において、遅く生き抜くためのスキルを身につけられるよう、「開智だからできる教育」にこだわり、全力で教育に取り組んでいきたいと考えています。

開智中学校・高等学校

新常識

校長 馬場 英明



新型コロナウイルス感染拡大で、世界中が前例のない事態に直面することになりました。学校は一月以上の長きにわたる休校措置。これが子供たちにとってどのような影響を与えているのか、とても心配です。この新聞が発行されている頃には、普段通りの生活が戻っているでしょうか。

その一方で、新型コロナウイルスは、私たちに今まで常識だと思っていたことの見直しを迫っている気がしています。私たちは、テレワークやオンライン教育など「リモート」をキーワードにした、新たな仕事や学びを視野に入れる必要がありそうです。この危機から生まれる新常識をデコにして、子供たちをたくましく成長させたいものです。

羽生学園中学校・高等学校

「ありがとうございます」の一言

校長 川合 廣征



3 月 24 日、本校では新型コロナウイルスの感染防止策をとりながら、中学校義務教育修了式を縮小して行いました。例年は、講堂に修了生を集め、担任からの修了名の後、クラス代表者の証書を渡すのですが、今年はクラスごとに講堂に集め、担任の呼名の後、修了生一人ひとりに証書を手渡ししました。その際、「ありがとうございます」と生徒一人ひとりに感謝の言葉。中止が縮小実施が学年団と悩みに悩んでの実施でしたが、生徒からの「ありがとうございます」の一言に、心が救われました。これからも素直に人に感謝を伝えられる生徒を育てたい、と再確認できた時間でした。

教育者の思い
未来を担う子どもたちへ

↑学校の映像はこちらから



ここにこ新聞公式
教育チャンネル